

まちづくり大学院スタジオ 2020

まちづくり演習第2 第1課題

公共空間に関する文献リーディングと眼前の状況からの考察

担当

中島直人・飯田晶子

【経緯】

新型コロナウイルス感染症被害拡大防止対策のため、今学期のスタジオは完全なかたちでの実施が困難となった。長期履修者は、可能であれば、来年度の履修を検討してほしい。しかし、それぞれの履修計画上、今年度中にスタジオの履修を希望する学生もいると認識している。そのような学生を対象として、自宅待機のままでも履修が可能なかたちで、スタジオを実施することにしたい。特に4月中については登校を伴う課題やオンラインでのディスカッション等は困難と考え、今後のスタジオ課題のために必要な基礎的な文献の購読・レポート作成、メール等での質疑応答を行うことにした。

【テーマ】

公共空間に関する二つの文献を読み込み、理解を深めた上で、眼前で起きている事態に基づき、公共空間のありかたに関して考察を行う。

【スケジュール】

4月4日 #0 課題書提示

- ・課題書、および提示されている課題図書に一度、目を通し、今学期履修するかどうかを決める。履修希望者は、中島 (naoto@ud.t.u-tokyo.ac.jp) まで、4月10日までに連絡する。

4月11日 #1 [プレイスメイキング] 課題図書読み込み・レポート作成

- ・下記の課題図書1をネットからダウンロードし、各自、目を通し、「プレイスメイキングから考えるまちづくり」に関して、読後レポートを提出する (A4、2~4枚程度)。なお、レポートでは、単に課題図書の内容を要約するのではなく、議論すべき点 (質問も含む) を少なくとも3点は提示すること。締切は4月11日23時。提出されたレポートは履修者全体で共有する。

課題図書 1

・UR 都市機構まちの空間形成・イノベーションワーキングチーム『居心地が良く、使われる公共空間をつくるために～プレイスメイキングから考えるまちづくり～（中間報告）』、2019 年

https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/placemaking/lrmhph0000009251-att/PLACEMAKING_HONSATSU_20191115.pdf

4月18日 #2 [プレイスメイキング] レポート1 フィードバック

- ・提出されたレポート1に対する教員からのフィードバックメモと他の履修者のレポートを確認する。
- ・フィードバック・レポートを提出する（A4、1枚程度）。締切は4月18日23時。

4月25日 #3 [アクティブデザイン] 課題図書読み込み・レポート作成

- ・下記の課題図書2をネットからダウンロードし、各自、目を通し、「Active Design Guideline」に関して、読後レポートを提出する（A4、2～4枚程度）。なお、レポートでは、単に課題図書の内容を要約するのではなく、議論すべき点（質問も含む）を少なくとも3点は提示すること。締切は4月25日23時。提出されたレポートは履修者全体で共有する。

課題図書 2

The City of New York, *Active Design Guidelines*, 2010

<https://centerforactivedesign.org/guidelines/>

5月2日 #4 [アクティブデザイン] レポート2 フィードバック

- ・提出されたレポート2に対する教員からのフィードバックメモと他の履修者のレポートを確認する。
- ・フィードバック・レポートを提出する（A4、1枚程度）。締切は5月2日23時。

5月9日 #5 [これからの公共空間] 最終レポート

- ・前回までの文献リーディングの経験を踏まえ、かつ、この演習期間中に収集する「新

型コロナウイルス」の都市計画や都市デザインへの影響に関する文献を参考にしながら、「新型コロナウイルスから考える公共空間」というテーマで、最終レポート（A4、2～4枚程度）を作成する。締切は5月30日23時。提出されたレポートは履修者全体で共有する。

以上、全てのレポートは、WORDファイルで中島(naoto@ud.t.u-tokyo.ac.jp)まで提出すること。また、課題図書については、即日での読解、レポート作成が難しい可能性があるので、演習日に限らず、事前に各自のペースで計画的に読解を進めておくことを推奨する。

5月30日以降の演習内容は、状況の変化に応じて決定する予定である。状況が許せば、具体の公共空間を対象とした調査・提案を行いたいと考えている。

以上。